

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3194981号
(U3194981)

(45) 発行日 平成26年12月25日 (2014.12.25)

(24) 登録日 平成26年12月3日 (2014.12.3)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 7 B 96/06 (2006.01)

A 4 7 B 96/06

B

F 1 6 B 45/00 (2006.01)

F 1 6 B 45/00

Z

A 4 7 B 96/06

F

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2014-600070 (U2014-600070)
 (86) (22) 出願日 平成24年6月14日 (2012.6.14)
 (86) 国際出願番号 PCT/CN2012/076936
 (87) 国際公開番号 W02013/091357
 (87) 国際公開日 平成25年6月27日 (2013.6.27)
 (31) 優先権主張番号 201120544288.0
 (32) 優先日 平成23年12月22日 (2011.12.22)
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)

(73) 実用新案権者 514158268
 深▲セン▼市▲美▼之高▲實▼▲業▼▲發
 ▼展有限公司
 SHENZHEN MEI ZHI GAO
 INDUSTRIES DEVELOPME
 NT CO., LTD
 中華人民共和國▲東▼省深▲セン▼市▲
 羅▼湖區笋▲崗▼▲東▼路1002号宝安
 廣▲場▼B座27樓, Guangdong
 518020

(74) 代理人 100076233
 弁理士 伊藤 進
 (74) 代理人 100101661
 弁理士 長谷川 靖

最終頁に続く

(54) 【考案の名称】 積層板用フック

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 積層板を支持フレームに簡単に迅速に組み立てることができる上、組立後、積層板を支持フレームに強固に固定することができる積層板用フックを提供する。

【解決手段】 積層板用フックは、底板1、内折板2、転換折板4及び外折板3を含む。底板1上には、積層板に接続するために用いられる複数の装着孔5が設けられる。底板1、内折板2、転換折板4及び外折板3は、順番に互いに接続される。内折板2、転換折板4及び外折板3は、底板1の外側に位置する上、内折板2、転換折板4及び外折板3の三者によってU字型が形成される。使用時、まず、積層板用フックを積層板の両側に固定し、その後、積層板用フックを支持フレームの横梁上に固定する。内折板2、転換折板4及び外折板3の三者がU字型開口であるため、積層板用フックを支持フレームの横梁に強固に固定することができる。

【選択図】 図1

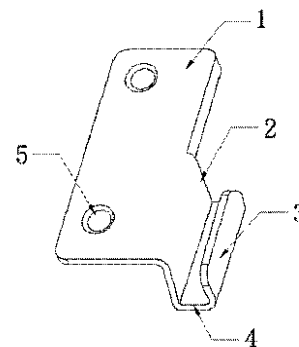


図 1/ Fig. 1

【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

積層板上に装着するために用いられる一種の積層板用フックであり、底板、内折板、転換折板及び外折板を含み、

前記底板、前記内折板、前記転換折板及び前記外折板中、前記底板上には、複数の装着孔が設けられ、

前記内折板、前記転換折板及び前記外折板の三者によってU字型が形成されることを特徴とする積層板用フック。

【請求項 2】

前記底板、前記内折板、前記転換折板及び前記外折板は、一体成形構造であることを特徴とする請求項 1 に記載の積層板用フック。

10

【請求項 3】

前記底板上には、2つの装着孔が設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の積層板用フック。

【請求項 4】

前記2つの装着孔は、皿小ネジ孔であることを特徴とする請求項 3 に記載の積層板用フック。

【請求項 5】

前記内折板の高さは、前記底板の厚さと前記積層板の厚さとの和に等しいことを特徴とする請求項 1 に記載の積層板用フック。

20

【請求項 6】

前記内折板、前記転換折板及び前記外折板の長さは、前記底板の長さより短いことを特徴とする請求項 1 に記載の積層板用フック。

【請求項 7】

前記内折板、前記転換折板及び前記外折板の長さは、前記底板の長さの半分に等しいことを特徴とする請求項 6 に記載の積層板用フック。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、家具の部材の技術領域に関し、特に、組立式家具に応用される積層板用フックに関する。

30

【背景技術】**【0002】**

従来の組立式家具中、一般に、各層には、物体を載置するために用いられる積層板が設置される上、多くの積層板は、ボルト、係合接続などの方式で支持フレームに固定される。ボルトを採用した固定方式の場合、組立後、積層板は、支持フレームに強固に固定されるが、組立又は分解をする際に時間及び労力が掛かるため、非常に面倒である。係合接続の固定方式を採用した場合、積層板を支持フレームに簡単に迅速に組み立てることができるが、組み立てた後、積層板を支持フレームに強固に固定することができないため、使用过程中、積層板が脱落する問題が発生する虞がある。

40

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来技術の問題に鑑み、本出願の実施例は、一種の積層板用フックを提供するものであり、積層板を支持フレームに簡単に迅速に組み立てることができる上、組立後、積層板を支持フレームに強固に固定することができる。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

上述の目的を実現するために、本出願の実施例が提供する技術を以下に示す。

【0005】

50

本考案は、積層板上に装着するために用いられる一種の積層板用フックを提供するものであり、底板、内折板、転換折板及び外折板を含む。

【0006】

底板、内折板、転換折板及び外折板中、底板上には、複数の装着孔が設けられる。

【0007】

内折板、転換折板及び外折板の三者によってU字型が形成される。

【0008】

好ましくは、底板、内折板、転換折板及び外折板は、一体成形構造である。

【0009】

好ましくは、底板上には、2つの装着孔が設けられる。

10

【0010】

好ましくは、2つの装着孔は、皿小ネジ孔である。

【0011】

好ましくは、内折板の高さは、底板の厚さと積層板の厚さとの和に等しい。

【0012】

好ましくは、内折板、転換折板及び外折板の長さは、底板の長さより短い。

【0013】

好ましくは、内折板、転換折板及び外折板の長さは、底板の長さの半分に等しい。

【考案の効果】

【0014】

20

本出願の実施例が提供する積層板用フックは、底板、内折板、転換折板及び外折板を含む。底板上には、積層板に接続するために用いられる複数の装着孔が設けられる。底板、内折板、転換折板及び外折板は、順番に互いに接続され、内折板、転換折板及び外折板は、底板の外側に位置し、内折板、転換折板及び外折板の三者によってU字型が形成される。使用時、まず、積層板用フックを積層板の両側に固定する。その後、積層板用フックを支持フレームの横梁上に固定し、内折板、転換折板及び外折板の三者がU字型の開口であるため、積層板用フックを支持横梁に強固に固定することができ、従来技術における積層板を支持フレームに強固に固定できず、容易に脱落する問題を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【0015】

30

【図1】本出願の実施例が提供する積層板用フックの構造を示す斜視図である。

【図2】本出願の実施例が提供する積層板用フックを積層板に固定した後の構造を示す斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0016】

当業者が本出願中の技術をより理解できるように、本出願の実施例中の図面を組み合わせ、本出願の実施例中の技術を明確且つ完全に描写する。描写する実施例は、本出願の実施例の一部であり、実施例の全部ではなく、当業者が創造的な労働を行わないという前提の下で取得される他の実施例は、本出願の保護範囲に含まれる。

【0017】

40

図1は、本出願の実施例が提供する積層板用フックの構造を示す斜視図である。

【0018】

図1に示すように、積層板用フックは、底板1、内折板2、転換折板4及び外折板3を含む。底板1、内折板2、転換折板4及び外折板3は、順番に互いに接続される。

【0019】

底板1は、積層板用フックを積層板上に固定するために用いられる。底板1上には、複数の装着孔が設けられる。図1に示すように、5が装着孔であり、装着孔5の数は、2つである。本出願の実施例中、装着孔5は、皿小ネジ孔である。当業者であれば分かるように、装着孔5は、ネジ山孔又は他の孔でもよい。

【0020】

50

内折板 2、転換折板 4 及び外折板 3 の幅は、同一であり、底板 1 の長さより短い。また、好ましくは、内折板 2、転換折板 4、外折板 3 の幅は、底板 1 の長さの半分に等しい。これは、積層板用フックを積層板に結合した際の面積を増やし、積層板用フックの装着後の強度を高め、装着後に強固に固定するためである。また、積層板用フックの強度を高めるために、底板 1、内折板 2、転換折板 4 及び外折板 3 は、一体成形構造であり、例えば、一体にプレス成型された金属板である。

【0021】

図 2 は、本出願の実施例が提供する積層板用フックを積層板に固定した後の構造を示す斜視図である。図 2 中、100 は、積層板用フックであり、200 は、積層板である上、積層板 200 上には、4 つの互いに対称である積層板用フック 100 が設置される。積層板用フック 100 を積層板 200 に固定した後、積層板用フック 100 が突出しすぎるのを防止するために、本出願の実施例中、内折板 2 の高さは、底板 1 の厚さと積層板 200 の厚さとの和に等しい。

10

【0022】

内折板 2 と底板 1 とは、互いに垂直であり、連結板 4 と内折板 2 とは、互いに垂直であり、外折板 3 と連結板 4 とは、互いに垂直である。これにより、内折板 2、転換折板 4 及び外折板 3 によって U 字型開口が形成され、U 字型開口は、底板 1 の外側に位置する。即ち、内折板 2、転換折板 4 及び外折板 3 が何れも底板 1 の外側に位置することにより、装着時、図 2 に示すように、底板 1 を積層板 200 の辺縁に装着する際、内折板 2、転換折板 4 及び外折板 3 によって形成される U 字型開口を積層板 200 の外側に位置させることができるため、積層板用フック 100 を使用して積層板 200 を支持フレームの横梁上に便利に固定することができる。また、U 字型開口の 3 つの側面である内折板 2 と転換折板 4 と外折板 3 とが互いに垂直であるため、横梁が直方形の柱体である場合、積層板用フック 100 を横梁に強固に固定することができ、従来技術における積層板を支持フレームに強固に固定できず、容易に脱落する問題を防止することができる。

20

【0023】

また、当業者であれば分かるように、内折板 2 と転換折板 4 と外折板 3 との間は、互いに垂直でなくてもよい。即ち、本出願の実施例中、内折板 2 と転換折板 4 と外折板 3 との間が垂直であるのは、好適な実施例であるのみであり、本出願を限定するものではない。

【0024】

以上は、本出願の優先される実施方式を示すものであり、当業者が本申請を理解又は実現できるようにするものである。これらの実施例の変更は、当業者にとって容易に行うことができるものであり、本明細書中において定義される一般原理は、本出願の精神又は範囲を逸脱しない状況のもと、他の実施例中において実現することができる。このため、本出願は、本明細書に示す実施例のみに限定されず、本明細書が公開する原理と新規性とが一致する最も広い範囲に符合する。

30

【 図 1 】

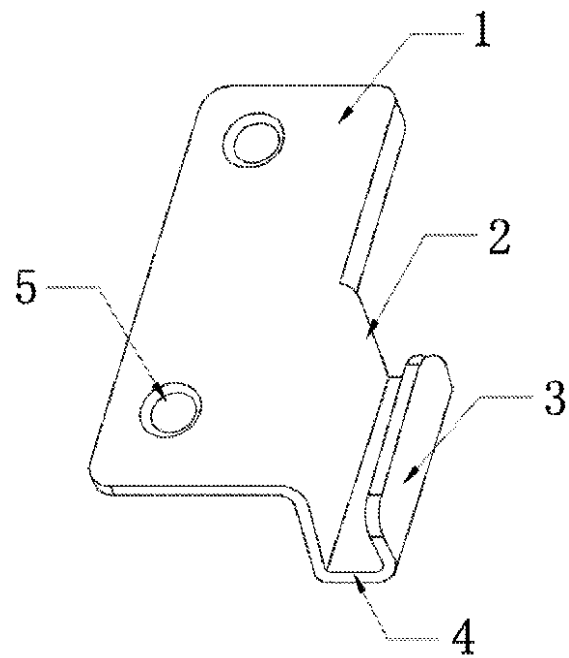


图 1

【 图 2 】

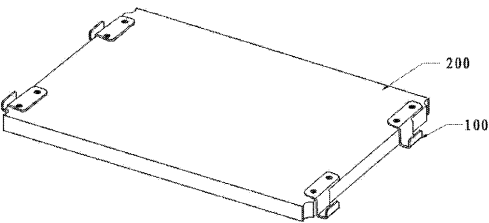


图 2

フロントページの続き

(74)代理人 100135932

弁理士 篠浦 治

(72)考案者 黄 ▲華▼▲僑▼

中華人民共和国広▲東▼省深▲セン▼市▲羅▼湖区笋▲崗▼▲東▼路1 0 0 2 号宝安广▲場▼B座
2 7 楼, Guangdong 5 1 8 0 2 0